

4年 英語活動指導案

授業者 HRT 高見澤 成美
ALT Gaston

1 題材名：「買い物ごっこをしよう」②

2 題材について

(1) 本時に関わる英語活動

生活の中に身近にある果物や野菜・文房具などの単語は、今までの英語活動や classroom English の中でも少しずつ聞く、発音するなどしてきている。本時ではそれらを買物の商品とする。数については1～15は、3年生までに学習している。その後、30までは4年生になってから学習した。今までに学習した商品名と数を総合的に生かす場として買物を設定する。買物をする場面を想定し、そこでの会話を前時に触れておく。

4年生の英語活動は、総合的な学習の時間の中の国際理解教育と位置づけて行っている。年間16時間の予定で、目標に照らして、探究的な活動も取り入れて行っている。本題材の1時間目では外国のお金の単位について調べたり、知っていることを発表したりする活動をとるようにしている。

(2) 題材の特徴について

買物は、子ども達にとっては身近であり、多くの子が経験していると思う。客と店員という二つの役割分担があり、興味や関心を持って取り組むこともできると考える。両方の役割を経験することで、コミュニケーションの楽しさも味わえると考えられる。

3 児童の実態

英語活動を楽しんで取り組む児童が多い。授業中元気よく歌を歌ったり積極的にコミュニケーションを取ろうとしたりする児童が多い。授業の前後にALTにあいさつをしたり声をかけたりする児童もいる。逆に、うまく言えないから苦手、といった消極的な姿勢になってしまう児童もわずかに出てきている。本時では、うまく言えない時の対応をどうしたらよいか気づくだけでも良いとし、客と店員の両方を楽しみながらコミュニケーションする事で、苦手意識を減らしていきたい。

4 指導計画

買い物ごっこをしよう 2時間扱い

1時間目 買い物する時の言い方を知る。

1dollar は日本ではどのくらいになるか予想する。

外国のお金の単位について知っていることを発表する。

2時間目 (本時) 買い物する時の言い方を思い出す。

高かった時にどう表現するか知る。

意外と安かった時どう表現するか知る。

買い物ごっこをする。

(値段交渉もしながら)

5 本時の学習

(1) 日 時： 平成 21 年 11 月 30 日 (月) 5 校時 (13:50~14:35)

(2) 場 所： 北杜市立 高根西小学校 4 年教室

(3) ねらい： 買い物ごっこを通して、買い物に使う会話に親しむ。

(4) 言語材料： How much? ○○ dollars.

(5) 展 開：

時 間	子どもの活動	HRT の支援	ALT の支援	備 考	
1	1 あいさつをする。	☆元気よくあいさつするよう に声をかける T: Let's begin S: OK!		CD	
2	2 How much? の歌を歌う。	○動作もつけて歌う。	○一緒に歌う。		
3	3 本時の学習について知る。	○前時の活動を振り返り、本時の活動を知らせる			
買い物ごっこをしよう					
4	4 買い物をする時の会話を思い出す。	○デモンストレーションする。	○デモンストレーションする。 ○ゆっくり模範を示し、繰り返させる		
A: Can I help you? B: Apple please. A: Here you are. B: How much? A: ○○ dollars. B: Thank you.					
5	5 こんなときどうするか考える。 (1) 値段が高かった時どうするか。 ・代表の児童が挑戦してみる。 〈any questions〉	○デモンストレーションする。 ○値段が高い (200dollars) 時の驚きを表現させる。	○デモンストレーションする。 ○質問に答える		

5	<ul style="list-style-type: none"> ・値段が高い時の表現を聞く。 (2) 値段が思ったより安かった時なんて言うか。 ・代表の児童が挑戦する。 <p>〈any questions〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段が安かった時の表現を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○値段の交渉のしかたも工夫させる。 ○値段が安かった (1dollar) 時の喜びを表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○質問に答える。 	
21	<p>6 買い物ごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班毎にお店を開く (八百屋・文房具) ・店員とお客に分かれて活動する。 ・商品の値段はその場で決めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前半と後半に分けて行う。 ☆元気よく会話ができるようにする。 ☆スムーズに買い物ができない子には、声をかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○お客になって買い物をする。 	
3	<p>7 買い物ごっこを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○会話に親しんでいた様子を紹介する。 		お金
1	<p>8 あいさつをする。</p>			
<p>T: Let' s finish S: OK !</p>				

★ 観察ポイント

☆支援ポイント

成果

- ・ とにかく言ってみる、「これなんだっけ」「隣の子に教えてもらった」など前向きに取り組んでいるのは、4年生までの英語活動の経験があるからだと思う。授業前に簡単なウォーミングアップでやりとりを取り入れても、子ども達は自然に活動できるようになっている。5・6年生での活動につなげていきたい。
- ・ 「買い物」の教材は、実体験では買い物も1対1での対応をするような買い物をする機会もないけれども、英語活動の中では自然なコミュニケーションとして会話することができる教材である。また値切ると言った経験は日本ではなかなかできないが、外国では普通に見られることなので、総合的な学習の面からも外国での暮らしとして知る機会になる教材といえる。
- ・ 子ども達が興味を持てる商品、今までの学習内容が生かされた商品を言語材料にしたことによって、店員と客のやりとりに集中し、値段の上げ下げにもチャレンジできた。

課題

- ・ A L T と H L T がコミュニケーションをとり、授業の中でのやりとりをスムーズにして行くことが大事になる。その中でお互いの役割分担をはっきりさせていくことが大事である。特に A L T には、英語をたくさん話してもらい、ジェスチャーも大げさにするなどの外国の雰囲気を出してもらえるようにしたい。
- ・ 課題（E X. ～の材料を買ってくる、全部で～品買ってくるなど）を持って行くと生き生きと活動できる。また、自分の役割をはっきりさせる（この場合、客か、店員か）と活動がよりいっそう認識できて良かったと思う。児童の実態に合わせて目標の設定をどこまで高めていくかも考えたい。



「もうちょっと下げて～」



「高い！」「じゃあ3ドルで」



どれにしようかな・・・



果物屋さんの商品です



「1ドルにしてください」